



「TDC若手支援セミナー デンタルナビゲーション」 ～研修医から臨床医へ～

認定医・専門医とは

東京歯科大学口腔健康臨床学講座 渋川 義宏

臨床に関する知識と技術の向上を図るには、スタディグループやセミナー、講習会などに参加する方法がありますが、学会が認定する専門医資格に挑戦することも有効な手段の1つです。**学会認定専門医**とは、医学、歯学の高度化、専門化に伴い、その診療科や分野において高度な知識や技量、経験を持つ医師・歯科医師のことで、**学会認定医**、**学会専門医**、**学会指導医**からなります。一般的に、**学会認定医**は各学会が認定した研修施設（指定病院）での研修期間や学会、研修会の出席回数を指定したうえで試験（主に筆記試験や口頭試問）を行います。**学会専門医**は認定医よりさらに高度な知識や技量、経験を持つ学会が認定した医師・歯科医師で、学会によっては専門医資格を広告に掲載できるものがあります（日本口腔外科学会、日本歯周病学会、日本小児歯科学会、日本歯科麻酔学会、日本歯科放射線学会）。さらに、**学会指導医**とは認定医や専門医などを指導する立場にある学会が認定した医師・歯科医師をいいます。**学会認定専門医**を取得するためには、まず、自分の興味ある分野の関連学会ホームページから情報を収集します。歯科に関する学会は、「**日本歯科医学会**」のホームページから調べることができます。日本歯科医学会とは、日本における歯科系学術団体の中核をなす組織で、各分野間を取りまとめる総合的な役割を持ち、現在、21の専門分科会（日本口腔外科学会、日本歯周病学会など）と18の認定分科会（日本レーザー歯学会、日本歯科審美学会など）から成り立っています。各学会のホームページには、学会認定専門医取得に関して、学会会員歴、研修施設、研修単位、試験方法、ケースプレゼンテーションの有無、論文や学会発表などの業績数など、詳細について調べることができます。また、認定医取得後は資格を維持するための更新制度（一般的に5年ごと）が設けられており、更新には学術大会参加や研修会参加など必要な単位取得が義務付けられています。

以上のように、**学会認定専門医**を取得することは、自分の得意な専門分野を持ち、その取得過程で必要な視覚資料（口腔内写真、エックス線写真など）を揃え、症例の概要（診査、診断、病因、治療計画、治療法の選択、治療経過など）をまとめたりすることで問題解決能力やケースプレゼンテーションのトレーニングになります。そして、その経験が臨床に関する知識と技術の向上を図る有効な機会となるだけでなく、資格取得後の臨床を続けていく上での貴重な財産となることでしょう。